

平成24年度学校自己評価システムシート（さいたま市立浦和南高等学校）

目指す学校像	南高生の誇り10箇条を座右の銘とし、人格の完成をめざし、豊かな情操を養い、探求心旺盛な自主自立の精神に充ちた心身共に健康な民主的社會人の育成を期する。
重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 主体的に学習できる生徒の育成と進路実績の一層の向上を図る。 活力と特色ある教育活動を推進する。 地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					学校関係者評価		
年度目標					年度評価（2月1日現在）		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	ここ数年で生徒の進路実績が向上している。今後も生徒の第一希望の進路実現を図るため、学習意欲の向上と、早期の受験への意欲を高める取組みが求められる。	授業改善と確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> 進学重視型高校への移行に向けた教育課程等の具体案づくり 生徒アンケートの分析による改善策の策定 授業改善にかかる情報の収集と共有 小テスト、補習、月例テスト等の継続的実施と充実 	<ul style="list-style-type: none"> 移行に向けた具体案をつくり、十分な学習環境を整備する。 「教え方が工夫されていて授業がわかりやすい」の割合が60%を超える。 授業研究会や各種研修等を活用して情報が共有される。 計画的、継続的に実施され、質的向上が図られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程委員会を中心に十分な検討を重ねた。 生徒アンケートによれば「教え方が工夫されていて授業がわかりやすい」の割合は、54.2%であった。 小テスト・補習の実施が各学年で定着した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 研修会への参加と共に、南高生にとって分かりやすい授業とは何かを、職員間で検討する。 新教育課程が実施されるため、その経過・成果を注視する必要がある。
		進路希望実現への積極的な取組み	<ul style="list-style-type: none"> 3年間を見据えた進路指導計画の整備と充実 早期の受験体制確立に向けた新たな取組みの導入 大学説明会、大学模擬授業等への参加奨励 進路情報の的確な伝達 	<ul style="list-style-type: none"> 計画的かつ継続的な進路指導計画を実施する。 ガイダンスやオリエンテーションを計画的に実施し、早期から受験を意識する。 延べ参加者数400名以上。 配布資料等の精選と充実が図られ、進路資料室利用者数が増加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年間を見通した進路計画が示され実行された。 第1学年で模擬授業に全員参加させ、大学受験の意識づけができた。 入試過去問題などの提供が適切になされた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学習意欲を引き出す工夫を、計画的・継続的に案出する。 大学説明会・模擬授業を74%の生徒が有用と感じており、今後も充実させたい。 大学の入試問題の模範解答作りを協力して進めたい。
2	学校行事や国際交流事業等は、生徒の自主性が幅広く発揮され、貴重な体験の機会となっている。今後も、本校の教育活動に活力となるよう、一層の推進が必要である。	学校行事と部活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事のより円滑な自主的運営を可能にする組織作り 部活動への積極的参加の働きかけと指導体制、活動環境の充実 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート等を活用し、生徒の活動意識を把握して、行事の充実や実施時期について検討される。 活動環境を整備し、活動状況を把握し、部活動加入率が85%以上である。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケートによれば、90%以上の生徒が行事に充実感をもっている。 部活動加入率は91%である。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 行事に充実感を感じている一方、生徒はさらに主体性を発揮したいと感じている。兼ね合いを検討したい。
		3つの体験活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 海外研修旅行、海外短期派遣(ニュージーランド)、社会探検工房及びSPP(海の生物学2012)等各事業の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 各事業の目的が達成され、報告の充実と活用が図られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各活動とも報告会・文集などにおいて内外からの高い評価を得た。 	A	<ul style="list-style-type: none"> これらの活動を、修得単位の認定へと繋げていけるようにしたい。
3	地域、保護者、中学生に対し、本校教育活動への理解を深めるとともに、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進することが求められる。	開かれた学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 近隣小中学校、辻地区、南区及び市との連携事業の一層の推進 創立50周年行事の成功 広報活動の充実 新入試制度に基づく結果の検証 	<ul style="list-style-type: none"> 各事業の成果を全職員で共有し、連携意識が深まる。 準備や計画が円滑に進められ、実りある内容となる。 ホームページの全面更新で、本校情報のいち早い発信が図られる。 入試制度の改定に伴う本校の状況を検証し、入試体制について見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> 創立50周年行事が、職員・生徒・保護者の協力により成功を収めた。 ホームページの充実に発展的に取り組めた。 入試制度について、学校説明会で情報を提供できた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 体育祭や文化祭で地域との連携を、50周年の今年度の経験を生かし、継続していきたい。 ホームページの閲覧は今後増加するとみられる。運用に慎重を期して対応したい。 学校説明会を継続実施する。
		安全・安心な学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 緊急事態対応マニュアルの見直し 最終耐震工事の安全な実施と安全点検の励行 毎日の生徒の健康状態の把握と感染症予防指導の実施 登下校時交通マナーアップ指導強化 けじめある生活指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な場面に応じたマニュアルの改訂と訓練を実施する。 安全点検の強化と事後対応が適切に行われる。 各担当からの情報収集が一元化し、適切な対応ができる。 登下校時の指導を計画的に実施し、生徒の交通マナーが向上する。 生徒の規範意識に向上が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> マニュアルの全面改訂を行った。 地震対応の避難訓練を実施した。 学期ごとの安全点検を例年通り実施した。 登校時の立哨指導を定期的に変更し、交通マナーを喚起させた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケートでは施設・設備面の整備について、良いと感じている割合が9%増加しており、今後もその拡充に努力したい。費用の裏づけも必要である。 交通マナーの指導は、繰り返し継続する。

学校関係者評価	実施日 平成25年1月29日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> 来年度からの進学重視型単位制への移行は、学年間で違和感のないように学校全体で取り組む必要がある。 55分授業については、生徒の受け止め方を慎重に見極めつつ進めて欲しい。3年後の結果は多方面から注目されている。 理系希望の生徒が増加していることだが、その対応について具体策を示せるよう努力すべきである。また、社会情勢の変化に伴って、進学希望の変化が今後もあるのではないかと推測されるが、学校においてきめ細かな進路指導が望まれる。 生徒の話からも、学校行事が充実している様子が伺える。今後も生徒の意見も取り入れつつ充実させてほしい。 入学前に生徒が持っていた印象と、入学後の実感を比較することが重要だ。生徒の見解も各様であり、多数の意見を傾聴する必要があるだろう。 小・中学校に比して、高校では地域との交流が少ないと感じる生徒もいるようだ。南高ではこれまでも努力して推進しているようだが、今後も一層多方面で地域との連携を深めていただきたい。 避難訓練では、高校生の協力が力強く感じられ好評であった。継続することが強く望まれる。 登校時の立哨で交通マナーを指導されており感謝している。今後は、南高生が小・中学生を指導できるようになれば理想的だ。